

## クエチアピン錠200mg「JG」の溶出試験

### 1. 試験目的

クエチアピン錠200mg「JG」につき、標準製剤を対照として、「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」に従い、溶出試験を実施した。

### 2. 試験条件

試験法：溶出試験法第2法（パドル法）

回転数：毎分50回転

試験液量：900mL

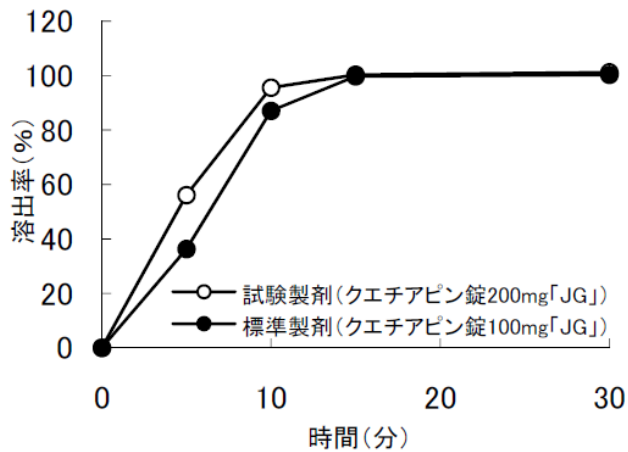
試験液：日本薬局方溶出試験法第1液(pH1.2)、McIlvaineの緩衝液(pH3.0)、日本薬局方溶出試験法第2液(pH6.8)、水(日局精製水)

ベッセル数：各12ベッセル

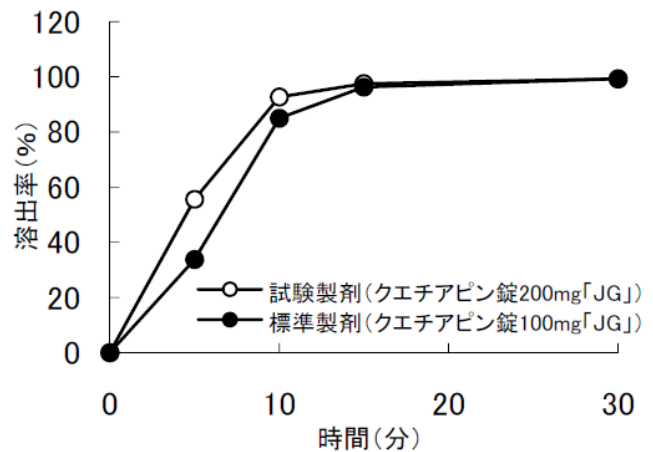
### 3. 試験結果

標準製剤(クエチアピン錠100mg「JG」)を対照とした試験製剤(クエチアピン錠200mg「JG」)の溶出試験結果を(1)~(4)に示す。

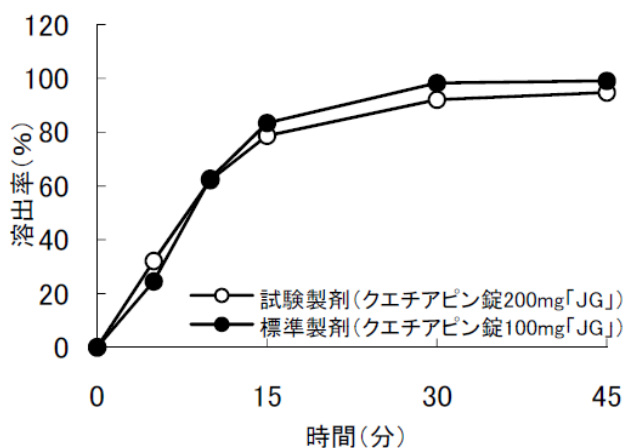
(1) pH1.2



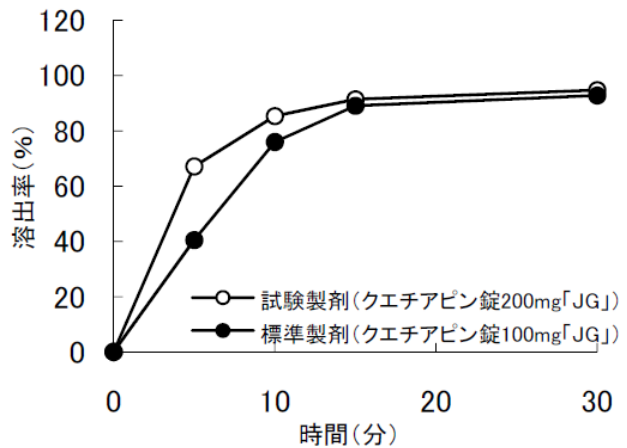
(2) pH3.0



(3) pH 6.8



(4) 水



### 4. 結論

クエチアピン錠200mg「JG」の溶出は、いずれの条件においても標準製剤と同様の溶出パターンを示した。

平成24年9月